

# 陸上競技要項

期 日 2019年 7月6日(土) 競技開始時刻 14時00分  
7月7日(日) " 9時50分

会 場 AGF鈴鹿陸上競技場  
住所:〒513-0817 鈴鹿市桜島町七丁目1-3  
電話:059-383-9010

開会式 平成31年7月6日(土) 13時00分

閉会式 競技終了後

種 目 男子 100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、\*400mH、  
4×100mR、4×400mR、  
(17種目) 走幅跳、走高跳、\*棒高跳、三段跳、砲丸投(6.0kg)、円盤投(1.75kg)、やり投(0.800kg)

女子 100m、\*200m、800m、\*3000m、\*100mH、\*4×100mR、  
(11種目) 走幅跳、\*走高跳、砲丸投(4.0kg)、\*円盤投(1.0kg)、\*やり投(0.600kg)  
(\*なしを正式種目、\*は準正式種目とする。)

競技規則 2019年度日本陸上競技連盟規則及び本大会競技要項により実施する。

## 競技方法

- (1) 男女別正式種目の学校対抗とする。女子の種目は100m、800m、走幅跳、砲丸投の4種目とする。
- (2) 得点は1位7点、2位5点、……6位1点とする。
- (3) 最多得点校を優勝とする。同点の場合の順位は上位入賞種目の多い学校を上位とする。

## 出場制限

- (1) 各校1種目3名、1人2種目以内(リレーを除く)とする。  
但し、男子は400mH、棒高跳、女子は200m、3000m、100mH、円盤投、やり投を1人2種目以内の制限から除外する。
- (2) リレーの参加チーム数は各校1チームずつとする。
- (3) 出場選手の学年制限は行わない。
- (4) 出場選手は平成31年度日本陸上競技連盟の登録者であること。

## 表 彰

- (1) 総合1位に優勝杯を、1位、2位に賞状を授与する。
- (2) 各種目3位までの入賞者には、その種目の結果放送終了後直ちに本部前において表彰を行う。

## 競技方法及び選手注意事項

- (1) トラック競技の予選レーン順及びフィールド競技順はプログラム記載順に行い、以後の組合せは本部で抽選する。
- (2) トラック、フィールドにまたがって同時刻に出場する競技者は、先に開始される種目の招集時にその旨を伝え同時招集点呼を受けること。
- (3) 選手の招集場所は100mスタート付近とする。
- (4) 代人による招集は(2)の場合を除いて一切認めない。(2)の場合における他種目出場者の代人による招集は、その旨競技者係へ申し出ること。
- (5) 各種目の招集時間は競技開始時刻を基準として、下表のとおりとする。  
(但し、参加人数が少ない場合はこの限りではない)

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	40分前	20分前
フィールド競技 (男子棒高跳を除く)	50分前	30分前
フィールド競技 (男子棒高跳)	80分前	60分前

競技者は招集完了時刻までに競技者係にナンバーカードを提示し、自ら点呼を受けること。

- (6) 招集場所から出発点、跳躍場及び投てき場への誘導は行わない。
- (7) 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権とみなして取り扱う。(出場不可)
- (8) 競技者といえども自分が出場している時刻以外は応援又は付添いのために競技場に入らないこと。
- (9) ナンバーは次のとおりとする。  
沼津101～ 岐阜201～ 豊田301～ 鈴鹿401～ 鳥羽501～ ナンバーは縦20cm、横25cmの白布に記入し、各校で作成の上胸、背部にそのままの大きさと確実に四隅を止めること。
- (10) リレー種目に出場するチームは招集完了時刻1時間前までにオーダー用紙を招集所に提出し、その上所定の時間に招集を受けること。
- (11) トラック競技の判定は、すべて写真判定装置(1/100)で行う。次のラウンドに進む出場者の決定で同記録の場合は(1/1000)単位で判定する。ただし、着差(1/1000)未満の場合は抽選により決定する。
- (12) セパレートレーンで行う種目は欠場者のレーンはそのまま空ける。
- (13) 短距離種目は衝突防止のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走り抜けること。
- (14) 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。但し天候の状況により審判長の判断で変更することがある。  
練習A 1m45、練習B 1m70  
開始1m50、1m55、1m60、1m65、1m70、1m75、1m80、1m85(以後5cmずつ)  
(順位決定のバーの上げ下げは2cmとする。)
- (15) 棒高跳及び女子走高跳のバーの上げ方は、当日審判員の打ち合わせによって決定する。
- (16) 医務室は本部に置く。  
競技会の事故は、応急処置のみで、以後の責任は負わない。

#### その他

- (1) 申込後の競技者変更は原則として認めない。
- (2) この大会に使用するスターティングブロック、円盤、砲丸、やりは主催者が用意する。但し、円盤とやりについては本部にて審判員の検査を受けたものについて使用を認める。棒高跳のポールは現地にて審判員が検査する。
- (3) トラック、フィールド種目とも全天候舗装のため使用するスパイクの長さは9mm以下とする。
- (4) 男子正式種目の優勝者および優勝チーム、女子正式種目の優勝者は第54回全国高等専門学校体育大会(以下、全国高専大会とする)の出場権を得る。また、リレーを除く男子正式種目2位以下の者、女子正式種目2位以下の者、男女準正式種目、リレー種目は下記の申し合わせおよび第53回全国高等専門学校体育大会陸上競技実施要項(以下、全国高専大会要項とする)の定めるところにより全国高専大会出場権を得る。  
申し合わせ  
①リレーを除く男子正式種目の両地区(東海、北陸)大会2位については、その年度の4月1日から地区大会(東海、北陸地区の日程の遅い開催日まで)終了時の公認記録を比べて、記録上位の選手が出場権を得る。  
②男女正式種目において何らかの理由で辞退者が出た場合は、地区に関係なく両地区大会の決勝における記録上位者に権利を譲る。同記録の場合は申し合わせ①に準ずる。  
③男女準正式種目、リレー種目(男子優勝チーム以外)については全国校高専大会要項の定めるところにより全国高専大会出場権を得る。

第54回全国高等専門学校体育大会陸上競技実施要項(案)抜粋(ここでの地区＝東海+北陸)

10. 出場制限

- (1)監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、競技者は下記のとおりとする。なお、リレー種目は1チーム6名以内とし出場種目数から除く。リレーの交代は規則どおり全種目の出場者が対象となる。
- (2)男子: 下記(4)の種目を除き、各地区1種目3名(北海道地区は2名)、リレーは2チームと全国上位7チーム、一人2種目以内とする。なお、開催校(又は開催地区)出場枠は各種目1名(1チーム)とする。
- (3)女子: 下記(4)の種目を除き、各地区1種目2名以内とする。一人の出場制限は(4)の種目を含め3種目以内とする。リレーは混成チームを認める場合がある。混成チームは対校得点対象としない。
- (4)ランキング種目については標準記録突破者で次のとおりの上位者とする。  
男子 400mH 24名:59秒00、3000mSC 20名:10分30秒00、棒高跳 24名:3m50  
女子 200m:29秒00、3000m:12分00秒00、100mH:19秒00、4×100mR:56秒00、走高跳:1m35、  
円盤投:23m00、やり投:25m00、女子は各種目上位16名とする。  
これらの男子3種目と女子7種目も対校得点とする。ただし得点対象競技者・種目(全体で一人2種目、1種目2名まで)を申し込み時に明記すること。その後の変更は認めない。得点は、上位8名に非対校得点競技者がいる場合は下げて付ける。表彰の対象は上位8名とする。
- (5)公認記録の有効期間について、リレー種目はその年度の4月1日以降最終の地区大会終了日までとし、これ以外の種目については前年の全国大会翌日からその年度最終の地区大会終了日までとする。
- (6)エントリーに関する注意事項(未定)

- (5) 競技場の環境を害さないよう、紙屑、ゴミ等はすべて各校で持ち帰り、競技場内にすてないこと(ゴミ箱はありません)。
- (6) 競技場周辺での投てきの練習は一切禁止する(競技場内へ入場して審判員の指示に従って練習を行って下さい)。